

他者の痛みに触れるとき

—教育・援助職を目指すあなたへ—

10.29(木) 14:40~16:10

駒沢キャンパス 中央講堂(200人定員)

対象:学生・教職員・一般 入場無料

事前申込 先着順

申込フォーム



講師

若林一美さん

ちいさな風の会世話人

元立教女学院短期大学学長

立教大学大学院修了。ミネソタ大学「死の教育と研究センター」研究員として留学。IWG(死と遺族に関する国際会議)会員。Illness, Crisis and Loss 編集委員。

『<いのちのメッセージ>—生きる場の教育学—』ナカニシヤ出版、『死別の悲しみを超えて』岩波現代文庫、『亡き子へ—悲しみを超えて綴るいのちへの証言』岩波書店、『デス・スタディ』日本看護協会出版会、他著書多数

子どもを亡くした親の会「ちいさな風の会」の世話人を40年近く務めてこられた若林一美先生。死別の悲しみや痛みを語ることの困難さを間近で見つめながら、それでも「人は人との関わり、交わりのなかで癒されていく」と語ります。本公開講演会では、先生のお話を手掛かりに「死から見えてくる生」や「人が人を支えること」の意味を考えていきます。